

校長室より

「天空高き」



第101号



平成29年10月19日

「Bond～強力 bond は離れない～」第9回楽学祭

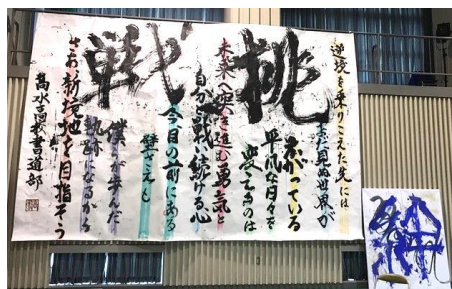
9月に入り運動会が9日に、今回第9回となる楽学祭が22、23日に開催されました。

生徒の皆さん、生徒会の皆さん、そしてそれを支えてくれた教職員をはじめ、駐車場の係や楽学祭で満笑カフェ・制服リユースなどのブースを出して下さったPTAおよびOBの方々、そして、今回から初参加の岩国短期大学の幼児教育科の有志と和太鼓“蓮”の皆様方、本当にお疲れさまでした。そして、あらためて高水学園を代表して心よりお礼申し上げます。

また、今回は姉妹校のオーストラリアのサザンクロスカトリックカレッジ校の生徒12名と先生3名が短期交流会に来校されていたので、一緒に参加していただきました。2日間、全校生徒との交流が図られたので、より生徒同士の親近感が増したのではないかと思います。

永井生徒会長は、「楽学祭を通して仲間と協力し、絆を深め合い、普段あまり考えたことのない、新しい事を発見しよう」と挨拶の中で言っていました。

本校は付属中、普通科、六年制普通科という3つの科からなります。普段、授業等ではお互いにあまり接する機会がありませんが、楽学祭という行事を通して、時間と空間を共有できたことは大きな意義があります。そして、姉妹校のサザンクロス校と、岩国短期大学の学生さんも参加されました。



“Seeing is believing.” 「百聞は一見に如かず」という諺があります。皆さんが直接彼らとコミュニケーションを取ることで、彼らとの共通点や相違点を分かり合え、より絆が深まったのではないのでしょうか。

10月の目標「主体的に！」

「自主性」とは、字のごとく、自らがやるべきことを（周囲から）言われる前に率先してやる、ということです。

皆さんは、運動会そして楽学祭では見事に「自主性」を発揮してくれました。保護者アンケートでも、皆さんが競技に全力で取り組む姿勢、そしてそれを一生懸命に応援する態度に、深く感銘されていました。

3年生の皆さんは9月に入り、就職試験が開始されています。進学を目指す生徒は、AO入試や推薦入試が始まっています。

今度は、自分で考え判断して行動すること、すなわち、「主体性」が求められます。

わからないことや疑問点があれば、まず自分が調べる。それでもわからなければ、家族や友人そして先生方に相談することが大事です。しかし、最後に判断し決定するのはあなた自身です。これからは、いつでも、どこでも、どんな状況下でも、自らの価値判断で主体的に行動することが大事です。そのためには、過去に捉われず、今を前向きに、素直に全力で取り組むことが大切です。

主体的に行動する

7時頃登校すると、すでに一人で黙々とサーブを練習している中学生がいます。

彼は一球、一球を考えながらサーブを打っています。うまくなって試合に勝ちたいから、自主練習しているのだと思います。

きっと皆さんの中にもこのような思いで、自主練習に取り組んだことがあると思います。本当に素晴らしいことです。

一生懸命に練習してもすぐにうまくなるとはかぎりません。しかし、自分で考えて、判断して行動する、という習慣を身に付ければ必ず成長します。そして、良い習慣は続けることが大事です。良い習慣は才能を超える、と言います。

彼には心の中で「頑張れよ！」と声を掛けましたが、さわやかな早朝の一コマでした。

10月 月間目標

主体的に！

平成29年度
チャレンジ目標

1. 先に元気なあいさつ
2. 5分前行動
3. 1%を誰かのために

校長室より



自転車鍵かけ運動その2—本校の自転車鍵かけの結果—

カギかけてね!

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

6月15日に、岩国警察署生活安全課の方々により、「自転車の鍵かけ」運動の声掛けが行われました。その時の結果は、付属中14台中、施錠なしが4台で、施錠率は77.8%。高校314台中、施錠なしが63台で、施錠率は79.9%でした。

3か月後の9月15日に、2回目の点検がありました。その結果は、付属中15台中、施錠なしが1台で、施錠率は93.8%。高校267台中、施錠なしが23台で、施錠率は92.1%でした。

1回目と比較すると、付属中では16ポイント、高校で12.2ポイント、それぞれ上昇し大幅に改善されていました。

1人でも多くの生徒の皆さんが、鍵かけを習慣化することで、軽い気持ちで鍵のかかっていない自転車を盗み、すぐに乗り捨てるケースを防止す

ることができます。自転車盗は、非行少年の犯罪の2位となっています。若者を安易な犯罪に走らせないためにも、必ず施錠することが大切です。一人ひとりの防犯意識を高めることで、犯罪が起きにくい地域をつくることに貢献できます。そしてそれがやがて家族の生命、財産を守ることに繋がります。当たり前なことを当たり前続けることが大事です。

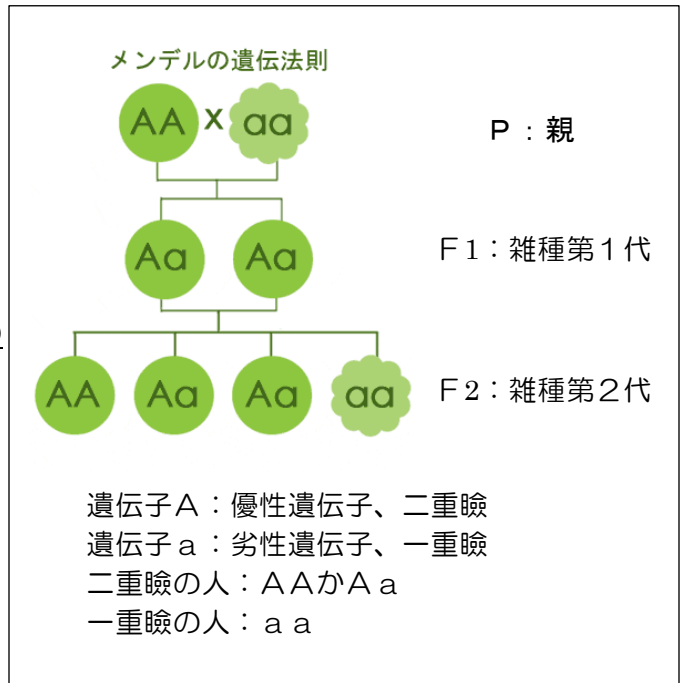
「メンデルの優性の法則」の用語改訂—伝える言葉の大切さ—

『遺伝の法則の「優性」「劣性」は使いません—。』

誤解や偏見につながりかねなかったり、分かりにくかったりする用語を、日本遺伝学会が改訂しました。用語集としてまとめ、9月中旬、一般向けに発売しました。

メンデルの遺伝学の訳語として使われてきた「優性」「劣性」は、遺伝子の特徴の現れやすさを示すにすぎませんが、優れている、劣っているという語感があり、誤解されやすかったと思います。

例えば、右の図を見てください。人の瞼（まぶた）には、二重瞼と一



重瞼があります。

二重瞼の遺伝子をA（優性遺伝子）、一重まぶたの遺伝子はaとすると、二重瞼の人の遺伝子型は、AAかAaになります。一重瞼の人の遺伝子型はaaです。

下図のように、二重瞼AAと一重瞼aaのカップル（親）の子供（雑種第1代）は二重瞼で遺伝子型はAaとなります。ちなみに両親とも一重瞼の場合はaa×aaなので子供は全員一重瞼aaとなります。

「劣性遺伝病」と診断された人はマイナスイメージを抱き、不安になりがちになります。日本人類遺伝学会とも協議して見直しを進め、「優性」は「顕性」、「劣性」は「潜性」と言い換えるそうです。

他にも、「バリエーション」の訳語の一つだった「変異」は「多様性」に。遺伝情報の多様性が一人一人違う特徴となる、という基本的な考え方が伝わるようになります。また、色の見え方は人によって多様だという認識から「色覚異常」や「色盲」は「色覚多様性」という表記になります。

私たちが普段、何気なく使っている言葉の中にも、今回のように誤解されやすい言葉がたくさんあります。目の前に現れている現象はただ一つです。そのただ一つの現象にどのような言葉を与えるか。そこが肝心です。

衆院選 期日前投票始まるー18歳の女子高生が一番乗りー

「衆院選（22日投開票）の期日前投票が11日始まりました。一部の自治体では通勤・通学者の利便性を考慮して投票時間を早朝に繰り上げたり、夜間に延長したりして投票率アップを図っています。

投票開始を2時間繰り上げて全国で最も早い午前6時半に開場した大阪府箕面市の投票所では、一番乗りした18歳の高校生が、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられて初めてとなる衆院選に1票を投じました。

一番乗りした生徒は大阪府立千里青雲高3年、中川夏希さん。彼女は開場の約10分前に到着し、22日の投票日は模試があるため期日前投票に訪れたといい、「空の投票箱に入れるのは緊張したけど、思ったよりも手軽にできた。他の場所でも早朝に投票できれば選挙が身近になると思う」と語っていました。

本校では3年生224名中135名の生徒に選挙権があり 毎日新聞 10月11日より
（今回は1999年10月23日生まれの生徒まで）

先ほどの大阪府箕面市の投票所で2番目に投票した服部捷さん（18）は、奈良県河合町にある私立西大和学園高の3年で、事前に候補者の政策をチェックしたといい、「この1票が日本を変えるのかと思うと重みがあった。これからの将来を考えてくれる人を選んだ」と話していました。

皆さんは誰に投票しますか？そしてどの政党に？是非、投票に行って清き一票を投じてもらいたいと思います。

